

## JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

### ・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Borland C++Builder6 で使用できるように環境設定を行ないます。

なお、当コーナーで使用している環境は Borland C++Builder6(Professional Edition)です。そのため、画面等がお使いの環境と多少異なる場合がございますので、予めご了承ください。

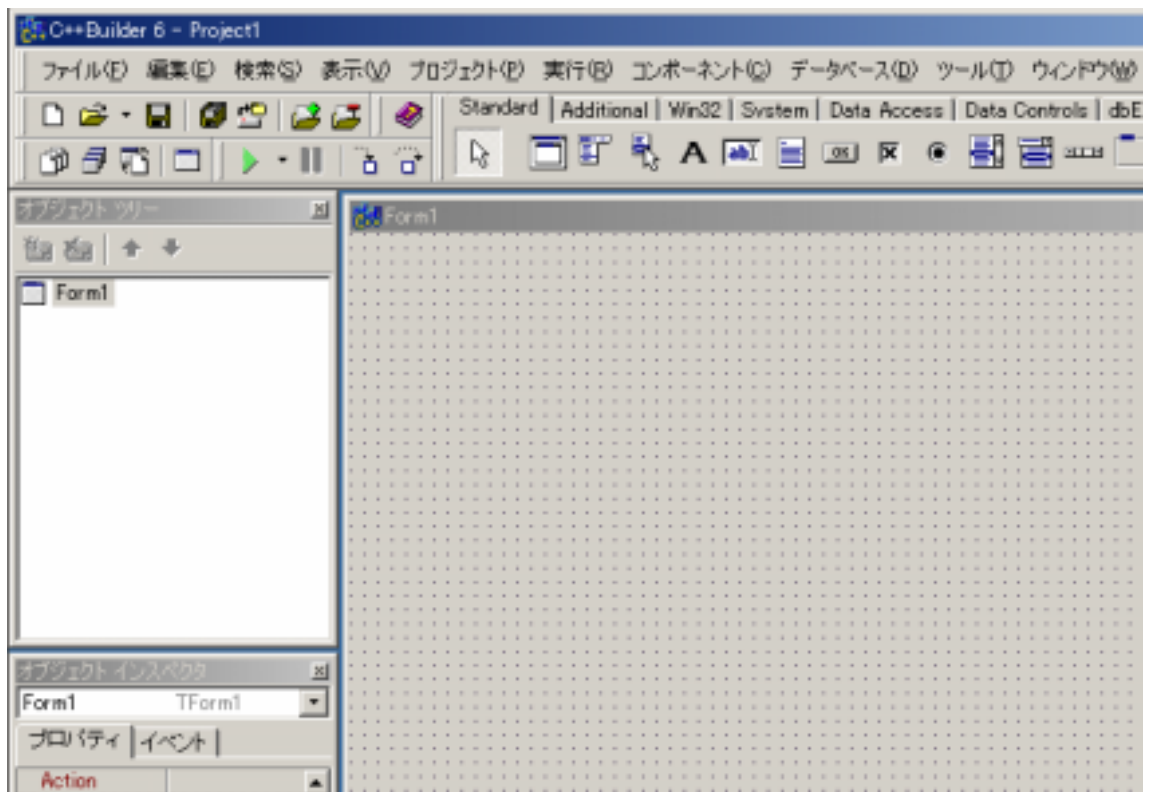
#### 【 今回の目標 】

プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

#### 【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

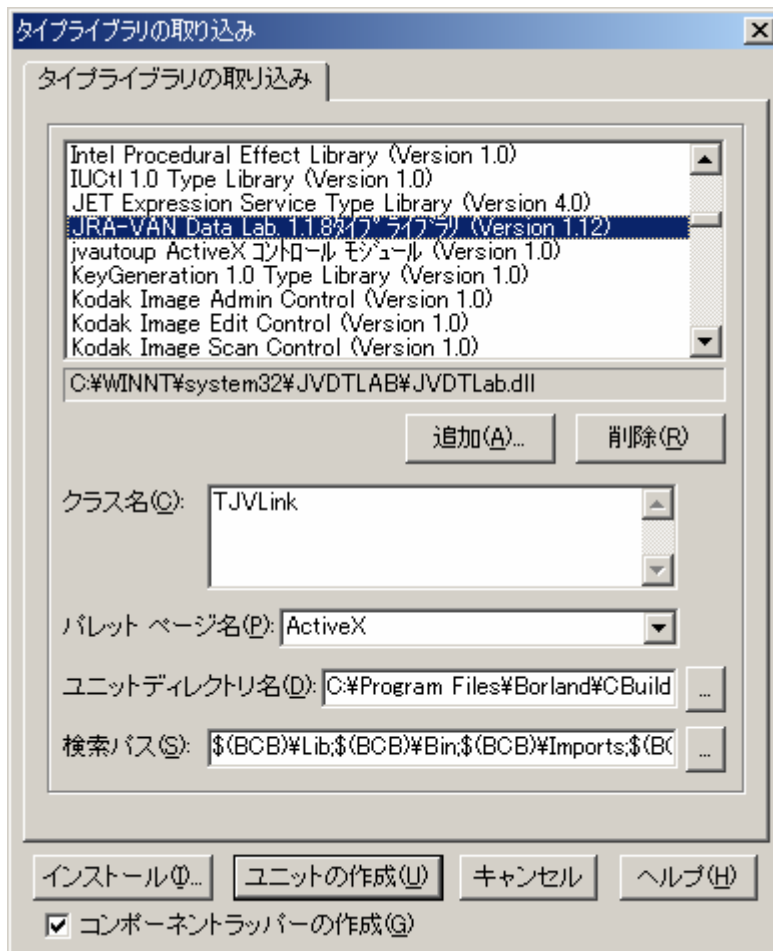
Borland C++Builder6 を起動する。



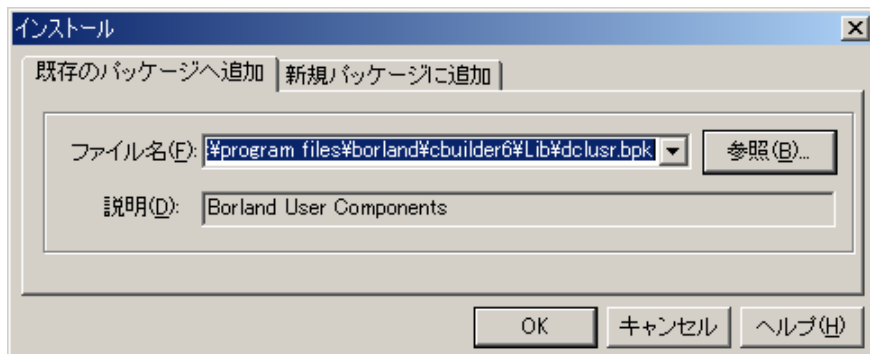
メニューの「プロジェクト」 「タイプライブラリの取り込み」を選択する。



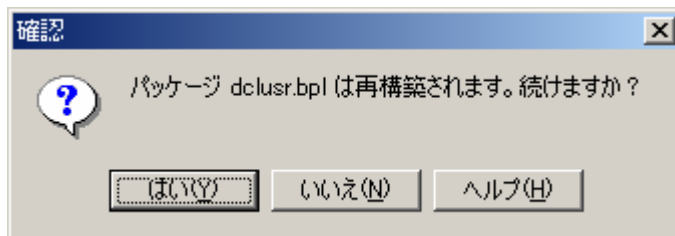
タイプライブラリの取り込みの「JRA-VAN Data Lab. XXX タイプ ライブ リ」を選択して「インストール」ボタンをクリックする。



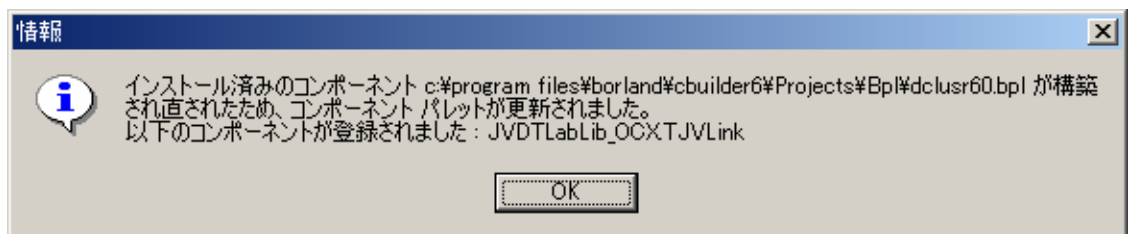
何も変更せずに「OK」をクリックする。



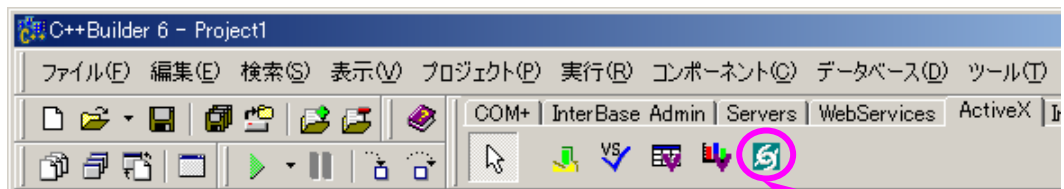
確認画面で「はい」をクリックする。



情報画面で「OK」をクリックする。

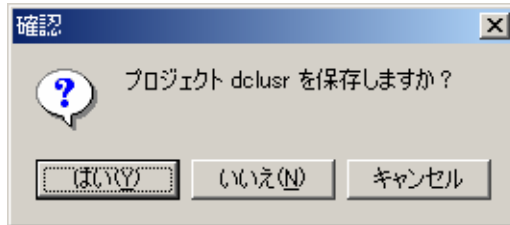


コンポーネントパレットの ActiveX ページに JV-Link のアイコンが表示されたことを確認する。



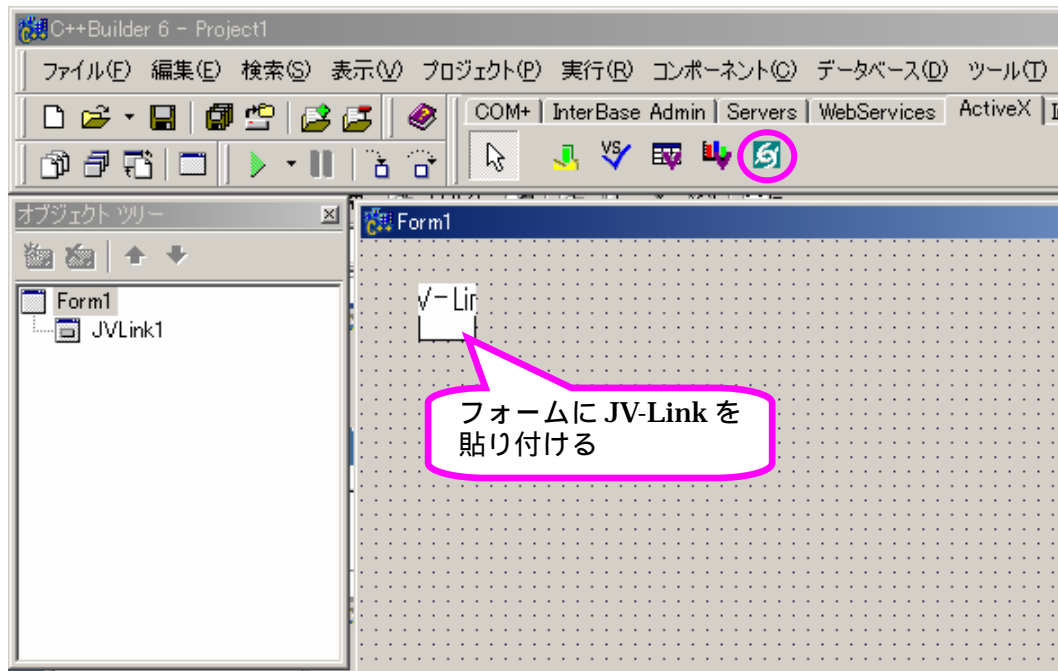
JV-Link のアイコンが表示される。

Borland C++Builder6 を終了する。このとき次の確認メッセージが表示されるので「いいえ」を選択する。



### 【 確認しよう 】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。



## 【 補足 】

### JV-Link の削除方法

JV-Link を更新する場合は、一旦、JV-Link を削除する必要があります。その後、メニューの「プロジェクト」 「タイプライブラリの取り込み」を選択して、JV-Link を取り込みなおす必要があります。

JV-Link の削除は次の手順で行ってください。

(インストールフォルダーを C:\Program Files\Borland\CBUILDER6 とした場合)

- 1 . 「C:\Program Files\Borland\CBUILDER6\Imports\」より以下のファイルを削除します。
  - (1)JVDTLibLib\_OCX.cpp
  - (2)JVDTLibLib\_OCX.dcr
  - (3)JVDTLibLib\_OCX.h
  - (4)JVDTLibLib\_OCX.obj
  - (5)JVDTLibLib\_TLB.cpp
  - (6)JVDTLibLib\_TLB.h
  - (7)JVDTLibLib\_TLB.obj(一部のファイルが存在しない場合があります)
- 2 . Borland C++Builder6 を起動して  
「\Program Files\Borland\CBUILDER6\lib\dclusr.bpk」を開き再構築を行います。
- 3 . ビルドが完了すると、コンポーネント(JVDTLibLib\_OCX,TJVLink)が削除された旨のメッセージが表示されます。
- 4 . コンポーネントパレットの「ActiveX」に該当コントロールが無い事を確認します。